



**磨こう！薬剤師だから気付くフィジカルアセスメント推論力**  
 多職種連携チーム医療の中で、薬剤師はバイタルサイン情報等をもとに薬学的介入を行い、安全で最適な薬物療法を提供する必要があります。本セミナーでは、患者に見立てたフィジコからのバイタルサイン収集実習、アセスメントから処方提案まで学習します。またフィジカルアセスメント活用例紹介により明日からの実践につなげます（年2回開催、同内容）。

<b>開催日程</b>	第1回 2019年 5月26日(日) 9:30~16:00 第2回 2019年11月17日(日) 9:30~16:00
<b>開催場所</b>	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 2階
<b>定員</b>	各回20名(薬剤師限定) <b>受講料</b> 10,000円(軽食含)
<b>認定単位</b>	3.5単位 京都薬科大学認定単位G24
<b>申込受付</b>	第1回 2019年2月20日(水)~5月13日(月) 第2回 2019年9月 4日(水)~11月4日(月)
<b>申込方法</b>	ホームページよりお申込みください。 <a href="https://skc.kyoto-phu.ac.jp/">https://skc.kyoto-phu.ac.jp/</a>
<b>講師</b>	JCHO京都鞍馬口医療センター 血液内科 医師 淵田 真一 先生 がん看護専門看護師 門田 典子 先生 みやこ薬局薬大前店 薬局長/在宅療養支援室長 管理薬剤師 西村 豊 先生 医療法人橘会 東住吉森本病院 薬剤科 主任 佐古 守人 先生 京都薬科大学 病態生理学分野 准教授 医師 細木 誠之 先生 臨床薬学教育研究センター 講師 薬剤師・救急救命士 今西 孝至 先生 生涯教育センター 特命教授 五十嵐恵美子先生

時間	プログラム
9:30~11:20 講義 実技実習	【Ⅰ】バイタルサイン情報収集スキル習得 1) フィジカルアセスメントを薬剤師が行う意義を知ろう ・聴診器の正しい扱い方 ・簡易な医療機器(アナロイド血圧計、パルスオキシメーター等)の原理と使用法 2) 実際にバイタルサインを収集してみよう ・聴診器の使用 ・呼吸、脈拍、血圧、SpO <sub>2</sub> の測定
11:30~12:00	【ランチョンミーティング】 フィジカルアセスメント推論力を鍛えよう「見て、触れて、バイタルサイン測定からイメージする患者状態」
12:30~14:40 講義 SGD	【Ⅱ】症例検討 1) 症例検討を行うにあたっての基礎知識 ・診断の流れ、疾病の基礎 2) 症例検討を行ってみよう ・X線写真の見方 ・心電図の見方 ・フィジコを用いた実技実習 ・発表(処方提案) ・質疑応答
14:50~15:50 講義	【Ⅲ】実例紹介「私が行っているフィジカルアセスメント」 ・病院薬剤師のフィジカルアセスメント ・薬局薬剤師のフィジカルアセスメント
15:50~16:00	全体を通しての質疑応答、講評

※プログラム内容等は変更される場合があります。

後援・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」「養成プラン(文部科学省)」「高度がん医療を先導するがん医療人養成」

京都薬科大学 生涯教育センター  
 2019年度  
 フィジカルアセスメントセミナー  
 〈アドバンスコース〉

